

## 令和元年度第3回防府市図書館協議会

日時：令和2年2月10日（月） 午後1時30分～午後3時

場所：防府市役所 1号館3階第1会議室

### ■出席者

（委員）藤村会長、安光副会長、廣森委員、原田委員、河村委員、新田委員、山崎委員、吉武委員、山本委員（計9名）

（事務局）江山教育長、林教育部長、森川教育部次長、尾中教育総務課長、大野図書館長、徳永図書館管理室長

### ■欠席者 津田委員

### ■議事録

#### ○事務局

定刻になりましたので、ただ今から「令和元年度第3回 防府市図書館協議会」を開催します。

それでは、防府市図書館協議会規則第三条第1項により、藤村会長に議事進行をお願いします。

#### ○議長

それでは、今回の会議につきましても前回と同様に、会議及び議事録につきましては、「公開」で進めてまいります。よろしいでしょうか。

（異議なしの声）

では、「公開」ということで進めてまいりますので、よろしくをお願いします。それでは、議事に入ります。

「令和2年度事業計画について」、事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局

前回の第2回協議会で令和元年度の図書館事業の実施状況を御報告し、今後の事業について、御意見をいただきました。

また、第1回の協議会では、平成30年度の実施状況評価をいただいておりますので、これを踏まえて、令和2年度の図書館の事業計画を作成しました。

防府市文化振興財団の事業計画は、理事会等を経て正式決定となるのですが、現時点ではまだ理事会が開かれておりませんので、計画（案）になります。本日は（案）の段階で御説明させていただきたいと思っております。

本日は、図書館から令和2年度の図書館の事業計画を御説明し、事業内容や

進め方について、御質問や御意見をいただきたいと存じます。

それでは、図書館長から御説明いたします。

#### ○館長

皆様には、あらかじめ資料に目を通していただいているという前提で、ここでは令和2年度からの新たな取り組みを中心に御説明をさせていただきます。

なお、各項目名については、時間の都合上、いちいち読み上げることはせず、数字番号で御説明させていただきます。

まず、1ページ目の1- (1) の①です。皆様御承知の通り、昨年10月より消費税が増税となりましたが、資料の購入目標数につきましては、今年度と同様とさせていただきます。今後とも質・量ともに充実したものとすべく、「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づき、適正な選書・収集に努めてまいりたいと思います。特に郷土資料の収集については、引き続き的確・迅速な情報収集に努め、防府図書館独自の特徴的なコレクションの形成に努めてまいりたいと思います。

1- (2) の③です。先の図書館協議会でいただいた御意見も踏まえまして、毎年発行している「図書館年報」の令和元年度版からは、事業報告並びに自己評価の体裁・様式を「防府市図書館サービス振興基本計画」に準拠したものといたします。

併せて、以前から御指摘いただいております利用状況をより綿密に分析し、さらなる利用の促進を図るため、「館外個人貸出者数」については、従来は23歳以上を一般としてくくっておりましたが、20代・30代…として細分化したいと考えております。同様に「館外個人貸出冊数」も一般書は0類~9類を一括してくくっておりましたが、0類・1類…として細分化いたします。

続いて、1- (3) の①です。地域のイベント等に合わせた移動図書館車の臨時出張サービスを行っておりますが、利用いただく機会も少しずつ増えてきております。今後も、より多くの団体に利用いただけるよう、ホームページや「図書館だより」・ポスター等を通じて周知に努めるとともに、申込書をホームページからダウンロードできるようにいたします。ホームページにつきましては、既にアップロードしています。

2ページ目、2- (1) の①です。来年度は「防府図書館まつり」が30回目という節目を迎えることから、10月開催予定の「図書館まつり」とは別に、令和2年度の「防府市生涯学習フェスティバル」に合わせ、実行委員会やボランティアの皆さんと協働して、サークル活動団体の展示や催し物を記念事業として行う予定です。時期は、来年3月になると思います。

3- (1) の①「ビブリオバトル」ですが、テレビでも報道されましたように、今年度、全国高校生大会の山口県予選が周南市立図書館で初めて開催されまし

た。防府図書館においても、引き続きイベントの普及を図るとともに、子どもたちの読書活動の推進と図書館利用を促すため、市内の各中学校・高等学校にも協力をお願いし、11月開催の第2回目においては中高生をバトラーとして募りたいと考えております。ちなみに、昨年11月に開催した第2回目の「ビブリオバトル」には、市内の高校生2名がバトラーとして参加してくれました。

4- (2) の①については、展示室における常設展示「上山満之進と三哲文庫」のほか、上山翁の誕生日に合わせ、9月から10月にかけての1か月間、ブラウジングコーナーの壁面を利用したパネル展示を行い、上山翁と三哲文庫の顕彰に努めたいと考えております。

3 ページ目、5- (2) の②です。防府市文化振興財団内連携企画として、4月25日から6月7日までのおよそ2か月間、「ソラール」・「アスピラート」・「山頭火ふるさと館」及び「防府図書館」4館が、「アナザーワールド～防府でちょっと違う世界を見てみませんか?～」という共通テーマを掲げてそれぞれの館で企画展示を行います。同時にスタンプラリーを開催して、来館者の増加を図りたいと考えています。

6- (1) の①については、新たな事業として、夏休みに小学生を対象とした「読書感想文教室」を開催いたします。

また、毎月の家庭の日に出張サービスとしてイオンで行っていた「おはなし会」は、来年度からは「さんさんおはなし会」という毎月の家庭の日の行事として、防府図書館内の「お話のへや」で開催いたします。

なお、職員による絵本の読み聞かせやブックトークなど、今後も出張サービスを引き続き行いますが、より多くの団体に御利用いただけるよう、ホームページ、「図書館だより」、ポスター等を通じて周知に努めるとともに、申込書を移動図書館車と同様、ホームページからダウンロードできるようにいたします。

続いて、7- (1) の①についてです。新たな事業として、主に高齢者向けの映画鑑賞会「月いちキネマ」を毎月1回開始したいと考えております。但し8月は夏休みですので、子ども用の映画の上映をしたいと考えております。

また、高齢者向けの講座としまして、生活に役立つ実用講座を年2回開催する予定です。

以上、また皆様方の御意見、御要望等をお聞かせいただきたいと思います。

○議長

図書館長から、説明がございました今のことについて、御意見、御質問がございましたら、お願いします。

図書館年報を、サービス振興基本計画や図書館評価に沿ってまとめていくということ、また利用状況に応じて図書館利用者を年代別にしたり、一般書を分類別にしたりということ、改善していくようですけれども、組み換えがなか

なか大変だと思われませんが、いかがですか。

○館長

年報の件について補足しますと、以前から委員の皆様より御指摘がありましたように、利用者の状況がもう少しわかりやすくなった方がいいのではないかという御意見も出ておりましたし、先に行われました利用者懇談会でも、少しずつ減ってきている利用者の改善について、利用の状況をしっかり分析して対応していくべきではないかという御意見もいただきました。今までも、分析についてはしていたわけですが、大雑把な分類ですと、一般人と申しましても 20 代の青年層から 70 代以上の高齢者まで、求めていらっしゃるものが当然違ってくるということもございます。そうした利用状況を細分化して、今後の資料の選書、展示、配架等も含めて改善していきたいということから、変更をさせていただこうと考えました。

○議長

サービス振興基本計画の区分に従って組みなおすのが難しいのかなと思ったものですから。

○館長

年報は、県の様式に従って大項目で 2 つに分けておりましたが、昨年度の図書館協議会の中で、既に令和 2 年度の年報から、基本計画に合わせたものにしてはどうかという意見が出まして、検討の結果、こちらの様式に合わせさせていただくことにしました。

内容は、特に大きく変更はないのですが、大項目が 2 つから 7 つに増えますので、より見やすい形にさせていただけたらと思います。

○委員

2 点、質問させていただきます。

1 つは、(1) -3 のところで、全開架資料の蔵書点検の実施についてです。10 月と 3 月にどういう形で行っておられるのかをお聞きしたいと思います。この際、所蔵点数が分からないので教えていただきたいことと、職員が休館をして行っているのでしょうか。そして書庫はしていないのかについてです。

もう 1 つは、(1) -4 のレファレンス協同データベースについてです。これは、画期的だなと思っています。山口県立大学は、まだ参加していないのですが、このデータベースの利用促進や活用について、昨年度から記載されているのですが、どの程度利用しているのか、活用方法についても教えて欲しいと思います。

○館長

蔵書点検についてですが、年に 2 回行っているのは、全蔵書数 49 万冊のうち、開架にあるおおよそ 12~3 万冊です。これは、職員がパソコンを持って行って、

バーコードを読んでいきます。閉架書庫については、バーコードを読む作業を行っていないのですけれども、配架間違いがあるため、並べ直しを数年に一度やっております。今年ちょうど、その作業をいたしました。

○議長

2日ぐらい休館しているのですか。

○館長

はい。2日間休館をして、3日間で作業をしています。2日間で無い本等を探し、3日目には、返却本を棚に戻して開館の準備をするようになっています。

もう一点、レファレンスデータ協同データベースについては、まず図書館の職員の中でこういった質問があったので、こういった資料を提供したかということをお互いに研修資料として使用しているところを持ち寄って、プライバシー等に配慮しながら、問題のないものはインターネット上に公開するようにしております。本年度は、まとめが追いついていないため、インターネット上に公開した件数は、あまり増えておりません。それが今年の課題かなと思っております。

○議長

2について御質問がございますか。

先ほどの説明で、防府図書館まつりが第30回になるということでしたが、古本市については、10月のフリーマーケットの時にして、展示等については、来年の3月の生涯学習フェスティバルになるということですかね。

それと、子ども読書フェスティバルも第10回目ということになりますが、こちらも変化があるのでしょうか。

○館長

2大イベントの一つであります子ども読書フェスティバルですが、5/24に開催する予定です。今年度は、岡本よしろうさんをお招きしまして、顔はめ絵本を作るというワークショップを開催しました。子どもたちにも非常に好評で盛り上がったということから、令和2年度もこうしたワークショップ的なものを取り入れていきたいという話が出ましたので、今年はまだ少し趣を変えまして、午前中は林木林さんを迎えトークショーを行います。そして午後からは、図書館内でお話のへややブラウジングコーナー、研修室を使っておはなし会、ビブリオバトル、ワークショップとしてブックカバーを作成するというような計画を立てております。今までは、多目的ホールで一日開催していたところを、前半・後半に分けて、午前の部は多目的ホール、午後の部は図書館で行うというような2部に分けての開催を計画しているところです。

○議長

子ども読書フェスティバルも図書館まつりも、実行委員会で確定することに

なると思いますね。

ボランティア連絡会議で、何か意見が出たことがありましたか。

○館長

ボランティア連絡会議は、今年度も既に1月に開催しましたか、今回はテーマとしまして、ボランティアの高齢化を踏まえ、新たなボランティアを養成していく上で、どんなことが考えられるかということを中心にテーマとして皆様に御意見等をいただきました

今ちょうど開催しておりますボランティア養成講座（2月の毎週木曜日、全4回シリーズ）について、その講座の受講後、受講者には市内にどんなボランティア団体があるかなどの紹介等をさせていただくと同時に、4月からのボランティアの体験に御案内をしようという話が出ていたところで、対応するよう考えております。

○議長

では次に3について、御意見・御質問がございましたら、いかがでしょうか。

○委員

おはなし会やブックトークの申込書ができましたので、職員に依頼する場合は、今までのように口頭での約束ではなくなりますし、内容や時間等についての行き違いが無くなるだけでなく、申込書を利用すればよいため便利になるなと思います。

○委員

11月に初めて中学生を入れて、ビブリオバトルをしていただき、ありがたいなと思っています。ただ、これを機会に一部の中学生だけでなく、学校中でも読書活動の推進をしていくきっかけになればと思いますので、なにかアドバイスがあれば教えていただきたいのですが。

○館長

ぜひ中学校の中でもそうした活動を盛んにしていただきたいと思います。

御参考になるか分かりませんが、一例を申し上げますと、小野小学校にて、ミニビブリオバトルをしたことがあります。一つの教室を使って、小さなグループの中で一人3分ずつ自分の好きな本を紹介していただくという形のミニビブリオバトルを開催しました。そこに職員が出向いております。

また、高校生の例ですが、防府西高校がクラスの中で読書会をやっておられるのですが、ホームルーム活動の中で生徒がクラスメイトにおすすめ本を紹介するという形をとっておられるようです。

多くの小・中学校で朝読に取り組んでおられると思うのですが、週に一回2人程度でもいいので、自分がクラスのみんなに好きな本や感動した本を紹介するという時間を取っていただけたらなあと思います。1クラス40人弱として

20 週あればひととおり回るのではないかと考えるわけです。そういうところを積み上げていって、プレゼン能力を養うということもできますし、併せて読書活動の促進につながるのではないかと思います。そうした機会を御利用いただき、ただ読むだけでなく発信していく活動にも取り組んでいただけたらと考えております。

○委員

ありがとうございます。

ホームページから申し込みができるのですね。

○館長

お知らせの所に出張サービスについてという項目があります。ここには利用の規定と申込書がありますので、参考にしていただき、御不明な点がございましたら電話で御質問していただければと思います。図書館職員は学校にも出向くなど御協力させていただこうと思いますので、ぜひ御利用いただければと思います。

○委員

ビブリオバトルに高校生が2名参加ということでしたし、防府西高等学校の読書会についてもお聞きして、明るい未来があるなと思ったところです。実は県立図書館運営会議でも申し上げているのですが、県立は、県立・私立の高校生以上を対象にすれば、大学生につながるわけです。ただ、県立図書館内にある子ども読書支援センター中心の話になると、どうしても小・中学校が対象になります。館長は、高校生や大学生のことも見据えておられるので、以前も申し上げましたが、展示や企画などに高校生や大学生を含めて考えていただけるもと期待しております。

○議長

他は、よろしいですか。

図書館利用者懇談会を続けて開催されており、大変ありがたいです。利用者からはいろいろな意見が出ますが、どのように対応されていますか。

○館長

今年も開催し、いろいろな御要望等もいただいております。特に今回、具体化したものとしましては、高齢者向けの映画鑑賞会と実用講座があります。これらは、利用者懇談会で出た御意見を踏まえた新規の取り組みです。参加者が比較的高齢者であったことから、その視点からの御意見・御要望があったものです。

○議長

では、次の4について、御意見・御質問がございましたらよろしく申し上げます。

上山満之進翁の絵画「東台湾臨海道路」ですが、今は常設展示場にコピーしたものが飾ってあり、今度レプリカが入るとお聞きしておりますが、いつ頃になりますか。

○事務局

レプリカにつきましては、現在、業者に委託して製作中です。3月中には出来上がる予定で、今は写真パネルを置いておりますが、その代わりに額も同様に複製したレプリカを展示することにしております。

○議長

よろしいですか。

次の3ページの5について、どうでしょうか。

○委員

学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムの活用ですが、これは広く活用されているのですか、それとも一部の学校に限っているのでしょうか。把握しておられたら、教えていただきたいのですが。

○事務局

市立図書館と学校図書館との横断検索につきましては、主に学校司書が検索をして、市立図書館に必要な資料があれば、貸出を受けるという形で利用することが多いと思いますが、先日、ある小学校の社会科の授業で、いろいろな公共施設のしくみを勉強する際に、小学校の図書室と市立図書館がネットワークでつながっていること、本の検索ができて、本も動かすことができ、有効に使えることができることを、授業の中で、検索画面を見ながら御紹介いただいたということもありました。そういう風に学校の中で子どもたちにも紹介していただければ、先生にも改めて、システムについても認識していただけて、活用が広がるのではないかと考えております。

市立図書館から学校図書館に貸出される本は、年々増加して、今年もさらに増えておりますので、ネットワークシステム自体は、学校の現場にとっては活用されていると言えると思います。

○委員

なかなか学校単独では本の冊数をそろえることが困難なので、ぜひ活用したいと思います。

○議長

今年度から、学校図書館同士の貸出状況はオンライン・ネットワークで、リアルタイムで本の状況もわかるようになったそうですので、ぜひ活用していただけるといいですね。県内でも防府市だけですので。

先ほど、財団4館連携企画としてアナザーワールドというのが紹介されていましたが、図書館としてはどういう企画になるのか興味深いので、御紹介いた

だけですか。

○館長

正式には4月に入ってから広報になりますが、まずアスピラートでは美術事業を開催します。科学館ソラールは科学の展示で、山頭火ふるさと館は、句の展示と美術的なものを展示します。図書館は寄せ絵の展示を予定しています。「アナザーワールド～防府で違う世界を見てみませんか～」というテーマで、どこの館も、ぱっと見て感じるものだけでなく、ファンタジーの世界であったり、意外性であったり、固定観念にとらわれないような見方ができるというものを出展していく予定です。図書館は本を貸出するところですので、絵の展示とともに4館で展示するものに関連する図書の資料展示も行います。それからソラールと連携して、ソラールの科学教室とブックトークを一緒に行う予定もあります。詳細については、広報をしっかりしていきたいと思います。

○議長

期待しています。

他はよろしいですか。次の6番の子どもたちの読書活動についてですが、何か御意見・御質問がございましたら、お願いします。

○委員

子供たちの為にいろいろな催し物をしていただき、ありがとうございます。今までイオンで行っていた「ほうふとしょかん出前おはなし会」を、この度から図書館で実施することについて、利用者が少なかったのでしょうか。

○館長

実は、利用者は多かったのです。先月は、親子で80人近くがいらっしやって、徐々に増えてきていたのですが、先ほどの出張サービスの兼ね合いで、毎月、同じ団体に行っていると、他の団体に出かけていくのが難しくなるため、1団体で年間3回ということにさせていただくことにしました。イオンさんには、何か特別なイベントがあるときには今までどおり行かせていただきますということで、企画を変更させていただいたということです。

○委員

「出前おはなし会」は、とても素晴らしい会だと思っていたし、利用者もかなりあったということから、館長が言われたように、図書館は一部のところだけでなく、いろいろな所に出かけていき、更に利用者が増えるといいなと思います。

青少年育成会議では、家庭や地域の絆が希薄になっているということで、第3日曜日の「家庭の日」にいろいろな企画を通して、親子や地域のふれあいや絆が深まっていくことを願っているところです。

これからも図書館の利用者が増えていけば、結果的に子どもたちの利用も増

える。読書好きの子どもたちが増えることに伴って、保護者の方々が図書館だけでなく家でも読み聞かせ等の活動をすることによって、ますます親子の絆が深まると思っています。それが基になれば、また更に読書好きの子どもたちが増えることにつながり、その子たちが大人に成長してくれることを私たちは願っています。

○議長

今年度の「図書館を使った調べる学習コンクール」に出品された方の中で、「調べる学習にチャレンジ！」を利用した方が、優秀な作品を出されたようですが、来年度(1)のところに「読書感想文教室」がありますので、これについての御説明をお願いします。

○館長

地域コンクールで金賞・銀賞を受賞した2人の作品を、全国コンクールに推薦しまして、全国で「奨励賞」をいただいたという非常にうれしいニュースがございました。

読書感想文教室についてですが、防府市以外の他館では実施しているところがあり、防府図書館にはなかったことから、本を読むのは好きだけど感想文を書くのが苦手という感覚を持っている子どもが多いので、夏休み早い時期に、小学校の中学年・高学年を対象にして、最低1回は開催をしたいと思っています。私に教師経験がございますので、当面、来年度は私が講師として開催できたらと考えております。

○議長

2年続けて、青少年読書感想文コンクールに防府市の児童が入賞しておりますので、また期待しております。

他によろしいですか。では、7の項目について、御意見・御質問がございますか。

○委員

高齢者に優しい図書館という項目で、映画を開催するという話を聞き、面白いと思うのですが、場所はどこを設定されていますか。

○館長

図書館の研修室です。

○委員

それでは、それほど大きくない部屋ですね。あの部屋にあるスクリーンを使って、図書館にあるDVDを上映されるのでしょうか。

○館長

スクリーンは、新調します。多少大きいものになります。

作品は、視聴覚ライブラリーでお借りします。

○委員

図書館のDVDの館外貸出はできないとなっていますが、やはりだめなのですか。館外でやるのは、難しいのですね。

○館長

基本的には、著作権の関係がありまして、上映できるものもあるのですが。

館内と表示のあるものは、図書館内で利用するものについての許可を得ているもので、外に貸出すものは上映権がついているものしかできないのです。

視聴覚ライブラリーのDVDは、上映権付きですので、そちらを利用したいと考えております。

○委員

考えるところがあったので、お聞きしました。ありがとうございました。

○委員

映画会については、以前は桑山の旧図書館の3階の視聴覚室で映写していて、たくさんの方が集まっておられました。久々にこれを再開するということをお聞きして、研修室がいっぱいになればいいなと思っております。

今お聞きしたところ、映画が図書館のDVDだけでなく、予算が付けば、なつかしい映画から新しい映画など、いろいろなところから取り入れていただければ、皆さんも喜ばれると思います。

○議長

はい。よろしく申し上げます。

映画会については、県内の図書館も昔はよくやっていて、参加者も多かったのですが、レンタルが盛んになり、自宅でDVD等がみられるものですから、図書館まで来てというのが少なくなってきた状況もありました。他市の上映会も閑古鳥が鳴いていたようですが、高齢者向けに特化して、懐かしい映画をやったら、人が増えたと聞いています。

○委員

昔、映画館で見た映画は、自宅の小さな画面で見るよりも、大きな画面で見るのが魅力ではないかと思えます。

○議長

高齢者向けの实用講座についてですが、どのような内容ですか。

○館長

第1回目は、高齢者が苦手とされているタブレット端末等の使い方について、秋ごろに開催を計画しております。

第2回目は具体化していないのですが、例えば、遺産相続などの法的なものができるのと、司法書士の方と御相談して、実用的なものを計画していけたらなどと考えております。

○議長

はい。わかりました。

それでは、全体を通して、何か御意見・御要望・御提案がございましたらお願いします。

図書館評価の際に意見を出された方もありますが、資料2については、いかがですか。

○委員

些細なことですが、最近、返却期限票にコメントがつくようになって、よくなったと感じております。これも、子ども用には、お話会のお知らせがつけばいいなと思いました。

○委員

先ほどの実用講座の件ですが、例えば年末には大掃除があって、よくお掃除の本が図書館に展示してありますけれども、そのコーナーを作った際に関連行事についてのお知らせがあれば、イベントと絡み合わせて人が利用するのではないかと思いました。

○委員

行きたくなる、楽しくなる図書館を工夫しておられて、すごいなと思うところですが、当校の子どもたちは、図書館から遠く利便性の悪い地域に住んでいるため、自分たち自らが行くには難しい地域です。「わっしょい文庫」が来ていただくのは、とてもありがたく、子どもたちも車の中一杯になるぐらいですが、いろいろなイベントに、とれだけの子どもたちが参加できるのか、行きたくても保護者が連れて行かないとどうにもならないということがあり、送迎の方法等、何かできることはないかと考えながら聞いておりました。

先ほどの「感想文教室」であるとか、図書館に行って調べたいなと思った時に、中学生は行けるけれども、小学生は難しいので、親と一緒に買い物ついでにという形でならできるが、親の関心が薄かったら図書館には行けないので、なかなか難しいと思っております。

○議長

防府市は、中心市街地に1館の街中図書館ということになっていますので、欲を言えば、富海や台道にも1館、分館があればいいのですが、なかなか難しいですね。でも移動図書館が市内を回るようになっておりますので、だいぶ改善がされていると思いますけれども、移動図書館車も限られた曜日の、限られた時間の利用ということになりますので、やはり利用は制約されることになりますね。

○館長

今、校長先生から、御指摘がありました。移動図書館車が小学校に運行さ

せていただいておりますが、先ほど御案内した出張サービスの制度がございますので、司書教諭または学校司書と御相談いただきまして、ミニビブリオバトル等図書館から出張して行うなど、お手伝いができると思います。また、御検討ください。

#### ○委員

簡単に感想を3つ言わせてください。

1つ目は、さっきの学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムの活用は、県内では防府ならではのものなので、これを予算化して全校に配置していることは、モデル地域として、エールを送りたいと思います。

2つ目は、この計画ができる時から言い続けているのですが、高齢者と障害者を一緒に考えている点です。高齢者と障害者から分かれたのですが、元気なお年寄りがたくさんいらっしゃいます。現在、人生は100歳といいますが、アクティブシニアについてです。先ほどから講座のことが出ていましたが、これは一方的に年齢が上の人たちを呼ぶ催しのような気がしていますが、そうではなくて、そういう人たちを先生や講師として招いて、その方たちが活躍する場を考えなくてはならないと思います。すべての人が、人に教えるとか自分の居場所や活躍する場所があると、張り切られるのではないかと思うのです。自分がその高齢に近づいてくると、より一層感じておりますので、図書館にそういう場もあればと思っております。

最後に、県立図書館で「ライぶらり」というのをされていますが、御存じでしょうか。これはぶらりぶらりと図書館の中を散策して、今まで自分が好きな分野以外の本を探して、借りてもいいし借りなくてもいいという活動です。今まで小・中学校及び高等学校でされているのですが、私は学校だけでなく、夏休みなどに子どもたちが図書館にやって来た時に、いつも恐竜の本ばかり見ている子が、他のところからぶらりぶらりと選ぶというのもよいのではないかと思うのです。県立図書館の子ども読書支援センターの松本先生らが勧めておられますので、この規制のないぶらりぶらりについては、大学生もできると考えています。ただこれは、あくまでも本とのおつきあいの入口ではないかと思いますが、まずは、公立図書館が自由な空間の中で自由に動くというのを、何かの時に企画されるのもいいかと思います。これは文部科学省の助成でやっており、半年間で作り上げたものです。少しずつではありますが、効果があったと聞いておりますので、是非ともやってみていただければと思います。

#### ○館長

今も御紹介のありました「ライぶらり」につきましては、研修にも参加させていただきまして、図書館でも取り入れられるところがあれば取り入れたいと考えているところです。

また、高齢者と障害者を区別してということについては、特にアクティブシニアの方々の場を作るという御提案でしたが、おっしゃる通り、例えば実用講座の講師としてお招きすることも十分考えられることではないかと思えます。そうした皆様への御案内等も考えていきたいと思えますし、先ほどのボランティアの活動の中でも、もう少し広げて活動いただけるように周知して参りたいと思っております。

オンライン・ネットワークにつきましても、県内では当館だけでございます。まだ中学校では十分に活用いただけていないような気がしておりますので、積極的に御活用いただけるよう取り組んで参りたいと思えます。

#### ○議長

アクティブシニアの活動については、防府の場合は、比較的高齢の方が、サークル活動で大活躍されておられるのですが、ある図書館によっては「自分史講座」とか「回想法を含めた音読会」をされることもあります。回想法を含めた音読会とは古典や詩などの名文を音読する会をして、その後思い出語りをしていただくことなどです。最初は職員がやるけれども、その後をボランティアに引き継いでもらい開催していきたいという話もあるようです。

いずれにしましても、図書館は人生の応援歌が聞こえる所ということをおっしゃる方がありますけれども、高齢者にとって、よき伴侶になる場所だと思っております。

図書館評価の意見の中で、ルルサス1階の空きスペースを高齢者や子ども向けに活用できないかというものがありましたが、いろいろ御検討されているようですが、いかがですか。

#### ○委員

現在は、空きスペースでは学生等が勉強をしていますが、その場所に図書館が入れば、先ほど話が出た子ども向けの「ライぶらり」をやるとか、小さな子どものいるお母さんが3階の図書館まで上がらなくても済めばよいかと考えたので、意見に出しました。

あと、以前から言っていますが、イオン側・南側からルルサスにやって来た時、図書館の表示がありません。あれがすごく残念です。少し足をのばせば図書館があるのになあと思えます。

#### ○議長

ルルサス1階の空きスペースは、自由に読書をしたり勉強したりと活用されていますが、現在のところ無料ですので利用がありますが、有料になったときにどうなるかなと思えます。

#### ○事務局

現在、ルルサス1階の空き店舗、昔ダイソーが入っていたところは、「まちか

どスペース社会実験」ということで、中・高校生、社会人が自由に使っております。図書館ではできない、お茶を飲みながら、お話をしながら学習するなど、自由に使っていただくということで実験しております。

調査結果を見ますと、利用人数が一番多かったのは、試験期間中でした。手元の数字は多少古いのですが、11/17～11/30の期間で、学生が817人、一般が184人でした。一日平均で、学生が58.4人、一般が13.1人。12/1～12/22の期間は、学生が1,197人で、一般が326人です。一日平均で学生が54.4人、一般が14.8人という状況でした。試験期間の一番多い日で、学生が114人とか119人という日があります。学生が67.4%、あとは社会人となっております。利用目的は、やはり勉強が一番多いということですが、他にも仕事や読書が用途に入っています。

今まだ実験中ですので詳しくは、また皆さんにお知らせできたらと思っております。今後、これをどう展開していくかを考えておりますが、アンケートによりますと多少金額(100円や200円程度)を払ってもいいという意見があるようですので、中心市街地活性化の中で考えていくようになっていきます。

#### ○委員

料金のアンケートについてですが、私はできるだけ安いほうが良い、できたら無料が良いと答えました。

#### ○議長

私も、安いほうが良いと回答しました。

図書館が1階空きスペースを利用するとなると、賃貸料がかかりますし、職員がついていなくてはならないということになりますので、人件費もかかります。なかなか慎重に対応しなくてはならないのだらうと思います。

また、イオン側から図書館を案内する看板については、御検討いただければと思います。

それでは、その他のところで事務局からお願いします。

#### ○事務局

今年度の図書館協議会はこれが最後になります。

来年度1回目の協議会では、令和元年度の事業の評価をしていただくことになっております。6月頃に図書館が自己評価をいたしまして、その結果を委員の皆様にお送りします。委員の皆様には評価シートに御意見をいただいて、それを基に、次の会議で協議会としてのコメントをいただくという形を考えております。開催時期は、7月頃になると思います。

また、来年度は、現在執行しております防府市図書館サービス振興基本計画の5年目の最終年度にあたりますので、策定協議会を設置して、令和2年度中に次期計画を策定する必要がございます。

○議長

現在進行中の計画は、防府市図書館サービス振興基本計画ですね。これを、来年度中には策定ということになるのですね。わかりました。

長時間にわたり御協力をいただきまして、ありがとうございました。本日は令和元年度の第3回目の会議で、来年度の図書館事業計画について説明を受けて、御意見を伺いました。また、全体を通じて、御要望等もお聞きしたわけですが、今後も委員の皆様のお意見をいただきながら、図書館事業が充実したものになるよう協議を進めていきたいと考えております。

生涯学習の中核施設、また情報拠点として、図書館が充実発展していきますよう今後とも御協力をよろしく申し上げます。

これをもちまして、本日の議題等は、すべて終了しました。